

科目名	社会科学Ⅱ Social ScienceⅡ			担当教員	大西 正泰 (窓口教員：権藤 典明)		
学年	5年	学期	通年	科目番号	08113	単位数	2
分野	一般	授業形式	講義	履修条件	選択		
学習目標	<p>目標区分 (A-1)：倫理観－倫理観を育て社会貢献の意義を理解・表現できる。 (A-2)：広い視野－国際的観点から多面的な意見を述べられる。 (A-3)：技術者倫理－技術の発展の功罪，技術者の責任を述べられる。</p> <p>社会科学の目的は、社会の題材を使って、分析し、自らの幸せを得るための解法を手に入れることにある。本講義では、</p> <p>1) 経営学の分析ツールを学ぶ。 2) 実際のビジネスの問題について1) を用いて討議し、解法を学ぶ (ケースメソッド)。 3) 1) 2) を通じて、自分の課題 (就職など) を分析し、解法を出すことができるようになる。</p>						
進め方	<p>本講義の進め方は、身近な問題 (例「なぜAKB48は売れたのか?」) について分析ツール (例「ロングテールの法則」) を用いて討議 (マイクロディベート、ジグソー学習、ワールドカフェなど) し、解法を導いていく。そして、自分の課題 (例「自分ブランドをどう組み立てていくか」) に応用するという進め方を主とする。</p>						
学習内容	学習項目 (時間数)			合格判定水準			
	1. 社会科学は幸せのツールである (4) (1) ガイダンス/「白熱教室」を分析せよ (2) 分析ツールは変える/「AKB」分析 2. 分析ツール【Ⅰ】(10) (1) 社会科学の作法/「12人の怒れる男」 (2) 経営の目的/ホリエモン vs Google? (3) 歴史分析/スティーブジョブズ編 [前期中間試験] (2)			1) 分析ツールを理解する。 2) 発言をする。 3) 分析ツールを用いて、課題を解くことができる。 の以上3点を合格判定基準とする。			
	3. 分析ツール【Ⅱ】(8) (1) SWOT分析/4象限で発想する (2) ライフサイクル分析/人生景気曲線 4. 分析ツール【Ⅲ】(6) (1) ポーター&コッターの競争分析 (2) BCG分析/恋愛に応用可能か? 前期末試験			1) 分析ツールを理解する。 2) 発言をする。 3) 分析ツールを用いて、課題を解くことができる。 の以上3点を合格判定基準とする。			
	5. 議論をツール化する (8) (1) マイクロディベート (2) ジグソー学習&ワールドカフェ 6. 四国は絶望の島か希望の島か? (6) (1) 新たな競争原理/AKB vs 草食系男子 (2) 四国の最先端/少子高齢化と社会起業 [後期中間試験] (2)			1) 分析ツールを理解する。 2) 発言する。 3) 分析ツールを用いて、課題を解くことができる。 の以上3点を合格判定基準とする。			
	7. ケーススタディ “Shikoku” (10) (1) 商店街復活/丸亀町モデル (2) 芸術は観光/直島&神山モデル (3) 特産物一点突破/今治・馬路&上勝モデル (4) 道の駅カクホセヨ/内子&四万十モデル 8. まとめ～機会を作り機会によって自らを変えよ (4) 後期末試験			1) 分析ツールを理解する。 2) 発言する。 3) 分析ツールを用いて、課題を解くことができる。 の以上3点を合格判定基準とする。			
	試験返却 (1)						
	評価方法			評価は、テスト (70%)、講義での発言 (10%)、レポート (20%) で行う。			
	関連科目			公民Ⅰ (2年) → 公民Ⅱ (3年) → 社会科学Ⅱ (5年)			
教材			ビデオ教材、テーマごとの資料によって行う。				
備考							